

## 平成30年7月豪雨

de jh4utp

電波伝搬、アンテナの風雪雷対策、移動運用などなど、いつも大自然を相手に奮闘していらっしゃるコンテスターのみなさま、こんにちは。

みなさまの安全なハムライフの一助となることを祈って、西日本豪雨の経験を記します。

### 7月5日(木)

3日から降り始めた雨はだんだんと激しくなり、自宅のある岡山市北区では、

#### 10:30 大雨注意報

#### 15:30 大雨警報

が発令されました。しかし、危機感はまるでなく、夜は車に6m and downの機材を積み込んだりしていました。

#### 19:13 洪水警報

旭川の放流サイレンが頻繁に響き、避難勧告が発令されました。夜間に緊急速報(エリア)メールが頻繁に配信されて何回も目が覚めました。

### 7月6日(金)

早朝の会議の後に出張の予定でしたが、新幹線が岡山～姫路間で止まり、ほどなく中止の連絡。JR在来線も止まり始めます。従業員を帰宅させる取引先も相当ありました。車の移動に危険を感じることはなかったので定時迄まで仕事をして、皆早々に帰宅しました。この日は遅い時間まで渋滞

が続いていました。

#### 21:35 大雨特別警報

#### 22:46 岡山市全域に避難指示

自宅は旭川が目と鼻の先ですが、周囲より少し高いハザードマップでも安全とされている場所の重量鉄骨3階建なので、避難するより安全と判断しました。県内河川の氾濫警戒情報が出され、実際の氾濫も報道されはじめましたが、具体的な被害の詳細についての報道はなく、これほどの被害が起きているとは思いませんでした。

23:35に突風が通り抜け、思わず窓から外を見まわしました。これが15kmも離れたアルミ工場の爆発音だと知ったのは翌日のことでした。



7月6日朝の旭川



7月7日午後の旭川

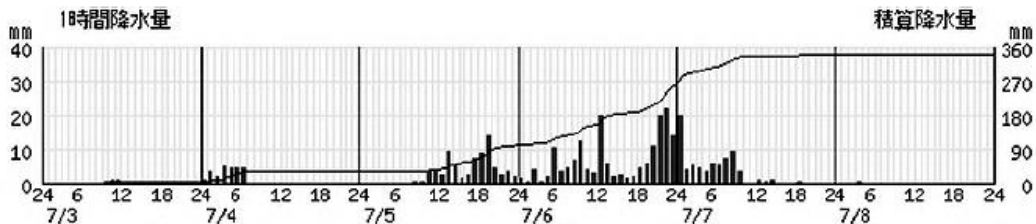


図1:アメダス時系列グラフ(岡山) \*1

## 7月7日(土)

夜が明けても、どこでどのような被害が発生しているのか報道ではほとんどわかりません。ネットで検索して深刻な状況を知ることになります。これはまずいと仕事関係の安否確認を開始しました。真備に住む 2 名とも連絡が取れ、被災したものの無事との知らせに一安心でした。

### 15:10 大雨特別警報解除

一通りの安否が確認出来たら、おやまの被害の有無が気になりはじめます。雨は降ったりやんだり、雨量の予想が 1 mm 以下になったので、木曜から積みっぱなしの機材とともに出発しました。

山中、道の真ん中にコーンが一本置いてあります。徐行して進むと道いっぱいにも崩れた土砂を取り除く作業中でした。危険な状況での作業に頭が下がります。引き返して迂回してさらに進むと、お巡りさんとパトカー。崩れているのはおやまより手前ようです。もう一本の道の状況はわからないとのこと。無理せず引き返すことにしました。

山道は危ないので平地を帰ったのですが、一面の水原となっていたり、冠水した道を進んだり、身近のあちこちで被害が起きていることをこのとき初めて知ったのでした。この後に見聞きした被害の数々もほとんど報道されませんでした。今起こっている事を知るには、自ら足を運んで見るか、知っている方に直接きくかありませんでした。正しい情報を知って安全を確保する難しさをひしひしと感じました。

## 7月8日(日)

### 02:32 洪水警報解除

夜が明けて久しぶりの晴れ間も見ることができました。6m and down は短時間自宅からワッチしたのみでした。移動局の信号はほとんど聞くことが

できませんでした。

### 19:00 避難指示解除

### 22:41 大雨警報解除

## 7月14日(土)

おやまで何かあってご近所に迷惑をかけていないか一週間気になっていたのも、とりあえず IARU 機材を積み込んで出発しました。

先週の作業箇所は通れるようになっていましたが、山肌は恐ろしいほどの崩れようでした。

さらに進むと通行止めの予告看板。



行けるところまでいこうとさらに進むと、「道路崩落のため完全通行止め」のバリケードが現れました。しょうがないので古い狭い道を慎重に進みます。この道もあちこち崩れていましたが、路面の土砂は通れる程度にとり除いてあったので、なんとかたどり着けました。被害はなくやっとな安心できました。

たどり着けたので IARU に参戦しましたが、また崩れると帰れなくなったかもしれないので、ここで帰宅が正しい判断だったのかもしれない。

<sup>\*1</sup> 気象速報「平成 30 年 7 月 3 日から 8 日にかけての台風第 7 号と梅雨前線による大雨について」